



日本共産党と立憲民主党の勝利 都民ファ激減、自公過半数取れず

自公政権を追い落とし政権交代を現実のものにすることが出来ます。

共闘選挙区大成果 共産5議席 立憲7議席

●4日に
行われた
東京都議
会選挙で
私たち日

本共産党は選挙前の現有18議席から1議席増の19議席を実現し、野党第一党の議席を確保する大きな勝利を勝ち取りました。

今回の都議選では、一人区、二人区などで立憲民主党など野党と候補者調整を行い、二人区の文京区、日野市で新しい議席を得る大きな成果を勝ち取りました。日本共産党候補に調整した6選挙区のうち先の2人含め、5選挙区で勝利しました。また、立憲民主党は現有8議席から15議席へと大きく増やしましたが、その7議席は立憲民主党候補に調整した8選挙区のうち7選挙区で勝利し獲得した議席数です。

●野党の選挙協力は相互の議席を増やしていくことに繋がり、自民党を追い詰める大きな力を発揮しました。この成果を遅くとも10月に実施される総選挙での市民と野党の共闘の発展の力にすれば、

日本共産党の選挙公約 政治を實際動かす力発揮

●選挙戦を通じて「五輪より命を優先する政治を。五輪

中止しコロナ収束にあらゆる力の集中を」と論戦を展開。その中で、選挙期間中であるにもかかわらず、パブリックビューイングを東京都に中止させ、子どもの五輪観戦も最終盤で18自治体迄中止に追い込みました。私たちの公約は、民意を味方にし政治を實際に動かす力を持っていると言えます。

■都議選の党派別当選者数

	計	候補者数	改選時	前回当選
共産	19	31	18	19
自民	33	60	25	23
公明	23	23	23	23
都ファ	31	47	45	49
立民	15	28	8	—
ネット	1	3	1	1
維新	1	13	1	1
その他	0	36	0	5
無所属	4	30	5	6
計	127	271	126	127

その他は諸派、れいわ、国民。
その他の前回当選数は、民進の当選者数。

業者・学生支援さらに

高知県議会 塚地議員が提起

日本共産党の塚地佐智高知県議は6月29日、県議会代表質問に立ち、新型コロナウイルス対策などをたざしました。塚地氏は、「小規模・零細業者は、コロナ禍以前からぎりぎりの状態で経営を続けているところが少ない。給付金、協力の基準となるような売り上げ50%減、30%減には届かず制度は利用できないが、事業を継続できるかどうかの厳しい状況に置かれている」と指摘。「売り上げ30%減未満の事業者への支援策を新たに考えるべきだ」と求めました。

松岡孝和商工労働部長は、「県の既存の融資制度について、償還期間や据置期間の延長を行う。また新規の貸付金については、償還額を徐々に増やしているステップアップ償還の制度についても取り入れる」と答えました。塚地氏は「学生への食料支援は、県としての『公助』の取り組みがなされないまま、1年以上にわたってボランティアによる『共助』が続けられているのが現状」とのべ、県として学生への食料支援に取り組むことを求めました。

浜田省司知事は、「二ノズが高まるような状況が確認できたら、必要な取り組みを検討する」などの答弁に終始しました。

塚地氏は「二ノズは『ずっとある』とのべ、大学とも相談し、予算化をして食料支援のスキームをつくるよう求めました。」

6月県議会代表質問
しんぶん赤旗7/3掲載